

はっとい院長の健康トーク Vol.8



金沢市大友1丁目109番地
はっとい大腸肛門クリニック
服部 和伸
076-238-8101

便秘について

便秘で悩んでいる方は非常にたくさんいると思います。便秘は痔を悪化させますし、逆に肛門疾患により便秘になることもあります。

しかし、多くの方はばくぜん便秘薬を飲んで、なかなか効果があがらずに苦しんでいるのではないのでしょうか。

便秘と一口で言っても、その内容はさまざまです。排便回数が少ないことから、便をうまく排出できない、すっきり出ない、便が残った感じがするなどの症状も便秘と表現されます。したがって便秘の病態を正確に知ることが治療をする上で重要になってきます。

最近起こってきた便秘ならば、便秘と前後して服用し始めた薬の影響を考えて下さい。大腸のポリープや癌も考えなくてはなりません。そのためには大腸のカメラやバリウムの検査が必要になってきます。

慢性の便秘ならば、生活習慣や食事の影響が考えられます。毎朝、食事の後に排便をする習慣をつけたり、繊維質を含むものを多く取るようにして下さい。

その他に肛門の機能異常によって起こる便秘があることが最近の欧米の研究でわかってきました。この場合は便がすっきり出なかったり、便が残った感を訴えるひとが多いようです。しかし、今まで日本ではこのことについてまったく触れられていません。病態としては肛門括約筋の動きの異常や、直腸と周囲臓器との隔壁の異常などのことがあります。

当クリニックでは石川県で初めて、このような便秘の診断を行うために、種々の検査器械を導入しました。大腸の蠕動運動を調べる検査法では、これまでは数日間にわたって何回かのX線撮影が必要でした。アメリカから直接輸入したX線不透過マーカーを使用することにより一回だけの撮影で済むようにしました。排便状態をリアルタイムに知るための注腸排便造影の装置も導入しました。さらに肛門内圧を測定するための最新の内圧測定用のプローブも導入しました。これらの装置を用いて、便秘や排便障害の診断を正確にできるようになりました。新たに導入した器械を用いて正しい診断をし、適切な治療法が選択されれば、症状の改善が得られるものと思います。

薬を長年飲んでいるが効果のない便秘でお困りの方は是非一度ご相談ください。

